

2023年1月度史跡巡り「秩父神社初詣・施設探訪」

2023.01.24

大岩

あけましておめでとうございます

コロナ、コロナで史跡巡りも落ち着かない状況でしたが今回思い切って再開いたしました。

1/24、男性8名女性8名計16名が参加しました。

電車に乗るのも久々です。

皆さん家を出るときどんよりとした天候で心配していましたが現地秩父についたら快晴となりホッとしました。

西武秩父駅で集合いざ出発30分ほどで秩父神社に到着。



秩父神社は権現造(ごんげんづくり)と言われる建築様式で、色鮮やかな社殿の彫刻はみどころのひとつです。日光東照宮の三猿や眠り猫で有名な、名工の左甚五郎(ひだりじんごろう)の作品とされるものも含めて有名な彫刻を堪能。お昼時になり、しばし自由行動。

それぞれ駅のフードコート、蕎麦屋さん、人気の食事処で昼食。

午後1:30に西武秩父駅に集まり、午後からの施設探訪「ちちぶ銘仙館」へ。

ちちぶ銘仙館は秩父織物、銘仙等に関する民俗学上貴重な資料を収集、保管及び展示し、これらの資料を永く後世に伝え、あわせて、伝統的技術を継承することを目的として設置された施設です。

係員に「糸繰室」「整経場」「捺染室」「織場」「染場」その他を丁寧に説明案内をしていただきました。

15時近く駅につきお土産など買って家路につきました。

久々の史跡巡り、天気が良くてよかった。





銘仙とは

経糸（たていと）と緯糸（よこいと）を交互に浮き沈みさせて織る、最も単純な織物組織である平織りの絹織物のことで、元々は大正～昭和のはじめ頃まで女性の間で普段着として着用されておりました。銘仙は、その後オシャレ着として日本中に広まっていきました。